

式 辞

令和8年 春のこの佳き日に、PTA会長 遠藤智子 様をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、保護者の皆様のご列席のもと、ここに埼玉県立朝霞高等学校 全日制課程 第64回入学式を挙行できますことは、この上ない喜びであります。

ただ今、入学を許可いたしました311名の皆さん、そして保護者の皆様、本校へのご入学、誠にめでたうございます。教職員一同、心から歓迎いたします。

晴れの入学にあたり、私から、高校3年間における大切な3つの心構えである、「守・破・離（しゅ・は・り）」についてお話したいと思います。

「守・破・離」とは、もともと日本の武道や芸術の世界で、技術を習得していくプロセスを示したものですが、勉強やスポーツ、ビジネスなどの世界で成功する人は、必ずと言っていいほど、この「守・破・離」を大切にしています。

【紙をめくる→「守」】

「守」は、基礎基本を徹底的に身に付ける段階で、これは第1年次から第2年次の前半頃が該当するかと思います。高等学校における学習の基礎を固めるとともに、社会生活で必要とされるルールやマナーなどをしっかりと身に付けていただきたいと思います。

【紙をめくる→「破」】

次の「破」の段階では、自分自身の強みや優れた点を知り、それを伸ばすことで自分なりのスタイルを確立していくこととなります。これは第2年次の後半頃ではないでしょうか？もちろん、うまくいかなければ何度でも「守」の基本に戻っていただき、基礎基本を固めていただきたいと思います。

【紙をめくる→「離」】

最後の「離」は、自らの進路を定め、それを実現し、学び舎を巣立っていく段階です。

18歳が成人年齢となり、ここにいる多くの皆さんは、高校在学中に「成人」を迎えることとなります。皆さんは社会において、一人の大人としての責任を果たしていかなければなりません。

「守・破・離」、この3つの字を思い出していただき、3年間を通じて皆さんが立派な人間に成長し、本校を巣立っていくことを願っております。

保護者の皆様、本日は誠にめでたうございます。本日の入学式に臨み、輝かしい歴史と伝統を誇る朝霞高校の一員として、第一歩を踏み出した我が子をご覧になり、感慨もひとしおのことと存じます。

高校時代は、お子様が高度な知識や技能を身に付けるとともに、視野を広げ、主体的に考え行動しながら様々な課題に取り組み、解決へと導く力を養っていく時期です。

地域の方々に見守られ、学校と家庭がしっかりと手を携え、生徒の成長を支えていくことができますよう、本校の教育方針に御理解をいただき、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、新入生の皆さんにとって朝霞高校での3年間は、輝かしいものになりますことを祈念し、式辞といたします。

令和8年4月8日

埼玉県立朝霞高等学校 校長 伊藤 孝人

(1156字・8分間)